

## ～街乗りロボットに乗りながら買い物する実証ツアー～ 〈京都府社会拡張ロボットフィールド〉

高齢者が、次世代スマートモビリティ『RODEM』に乗って買い物をする実証を行います。  
街乗りロボットに乗ったまま、自分で商品棚の商品を取るなどの動作がスムーズに行えるかを  
検証するもので、歩行者と同じ目線となるよう設計された「RODEM」ならではの实証です。  
ぜひ当日の様子など取材いただきますよう、お願い申し上げます。



### ■開催概要

名称：～街乗りロボットに乗りながら買い物する実証ツアー～

日程：令和5年6月26日（月）～27日（火）

6月26日（月）1組目：10時45分～

2組目：13時00分～

6月27日（火）1組目：10時45分～

2組目：13時00分～

場所：サービス付き高齢者向け住宅「メディカルグランメゾン京都五条御前」から「イオンモール京都五条」まで、入居者様4名（ご自身で歩行可能）が「RODEM」に乗り移動し、店内で買い物を実施

片道距離：約1KM  
片道時間：約13分

五条通という道幅が広い歩道を走るのので、RODEMでも走りやすい。  
イオンモール内も通路が広いので、電動車いすとして走行しやすいと考えている。



イオンモール店内でRODEMが動く様子



COPYRIGHT © 2023 NEOMOBI CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED

### 〈お問い合わせ先〉

ネオモビ株式会社 取締役 宮内 翼 (090-8889-0435)

京都府 商工労働観光部ものづくり振興課 課長 足利 健淳 (075-414-4846)

別紙有り

## ■次世代スマートモビリティ『RODEM』<sup>ロデム</sup>について

- ・どんな人も境界なく移動を楽しめる、真のバリアフリーを実現するユニバーサルデザインの次世代スマートモビリティ
- ・2020年9月に日本産業規格（JIS：Japanese Industrial Standards）の安全要求事項（T9210）として制定されているので、公道を安全に走行可能
- ・走行時の目線が高く、歩行者と同じ目線で会話をし、物を取ることが可能なのでRODEMに乗ったまま棚にある商品を取るなど、買い物を行うことができる。



名称・型番	RODEM（ロデム） / M651
サイズ	全幅：690mm、全長：1000～（1200）mm、全高：920～（1200）mm
速度	最高時速 6km
区分	電動車いす ※歩道・路側帯を走行／運転免許不要
特別仕様	カゴと荷物フックを設置し、買い物にも対応

## ■実証企業の情報

	企画	開発
企業名	ネオモビ株式会社 <a href="https://neomobi.co.jp/">https://neomobi.co.jp/</a>	株式会社テムザック <a href="https://www.tmsuk.co.jp">https://www.tmsuk.co.jp</a>
代表	代表取締役 上浦 有賀	代表取締役社長 川久保 勇次
所在地	京都府京都市左京区吉田牛ノ宮町 6-1	京都府京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 689 番地 1
事業	シェアリングモビリティ事業	実用ロボット（ワークロイド）の研究開発・製造・販売

## ■京都府社会拡張ロボットフィールドとは

京都府では、2019年に「けいはんなロボット技術センター」を開設し、700件以上のロボット開発・実証等を支援してまいりました。その結果、京都のスタートアップ製ロボットが建設現場や飲食店等に導入され始めるなど、先行する海外製ロボットへのキャッチアップが進んできました。

こうした社会実装を加速させるため、昨年度から、「ロボット共生カフェ」をはじめとした、様々な現場をフィールドにした様々なロボット関連実証実験を後押ししているところです。